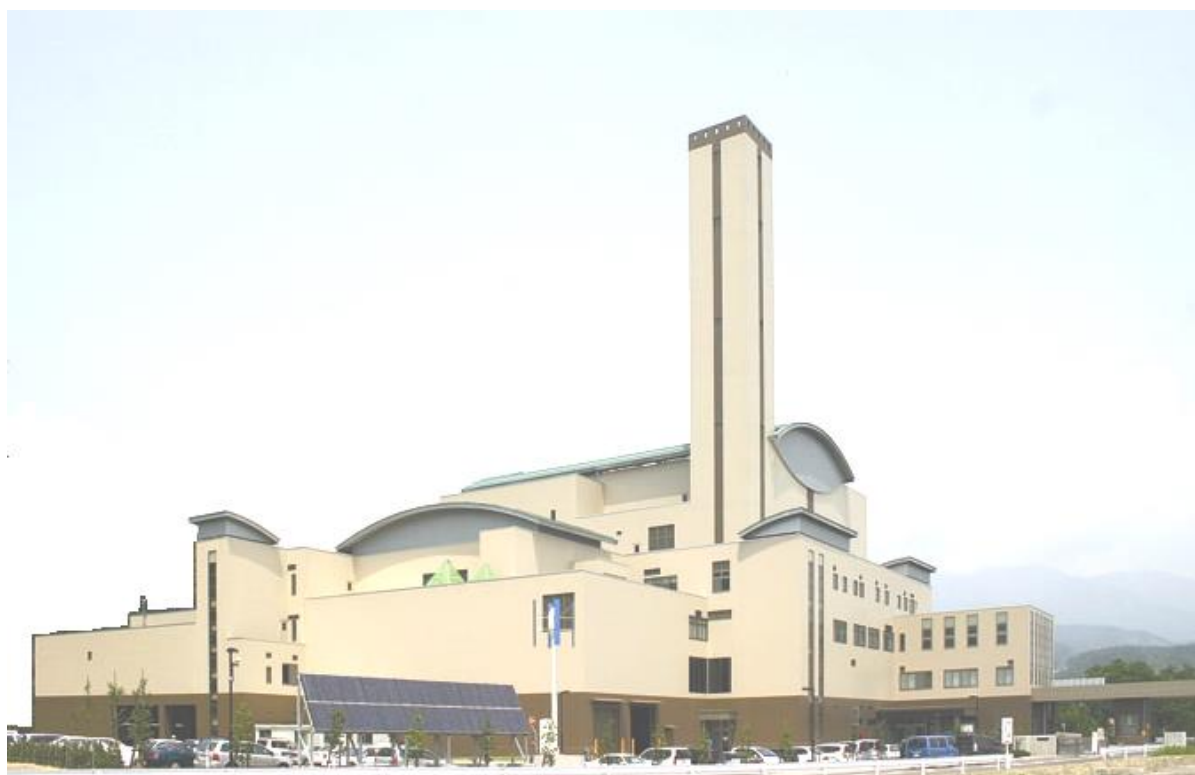




大野・勝山地区 広域行政事務組合の概要

令和3年度



▲ごみ処理施設「ビュークリーンおくえつ」

大野・勝山地区広域行政事務組合

〒912-0011

福井県大野市南新在家第28号1番地

TEL 0779-66-6690

FAX 0779-66-6691

目 次

第1章	圏域の概要	1ページ
	1. 位置及び地勢・面積・人口	1ページ
	2. 産業	2ページ
第2章	事務組合の概要	3ページ
	1. 事務組合の概要	3ページ
	2. 事務組合の歩み	4ページ
	3. 組合議会	4ページ
	4. 事務組合の機構	5ページ
第3章	事業の概要	6ページ
	1. 廃棄物処理施設の管理運営事業	6ページ
	2. 広域観光の推進事業	8ページ
	3. 奥越青少年愛護センター運営事業	11ページ
	4. 介護保険認定審査会・障害者介護 給付市町村審査会の運営事業	13ページ
	令和元年度決算	14ページ
	令和3年度予算	15ページ

第1章 圏域の概要

1. 位置及び地勢・面積・人口

本圏域は、大野・勝山地区広域市町村圏と称し、北部は石川県、東部及び南部は岐阜県、西部は福井坂井地区広域市町村圏及び丹南地区広域市町村圏に接しており、白山国立公園、奥越高原県立自然公園などの美しい自然環境と古い歴史を有している。また、構成する大野市、勝山市とも特別豪雪地帯に指定されている。

本圏域の面積は1,126.31km²で県土面積の26.9%を占め、県内4圏域の中で最大である。圏域面積の85.2%、959.97km²は森林面積である。〔数値データ：R元(第67回)福井県統計年鑑〕

本圏域の人口は52,254人(令和3年4月1日現在)で、年々減少傾向にある。



人口・世帯数・面積の市別表

区 分	面積(*1)	令和3年4月1日(*2)		1世帯当り 人員(人)	人口密度 (人/km ²)
	(km ²)	人口(人)	世 帯 数		
大野市	872.43	30,299	10,700	2.83	34.7
勝山市	253.88	21,955	7,578	2.90	86.5
圏域計	1,126.31	52,254	18,278	2.86	46.4
福井県	4,190.51	758,431	291,819	2.60	181.0
広域／福井県	26.9%	6.9%	6.3%		

数値データ：(*1)R元(第67回)福井県統計年鑑

(*2)市の人口及び世帯数は平成27年国勢調査の結果を基礎とし、これに毎月、市から報告される住民基本台帳の増減数を加えて算出している
県の人口及び世帯数は「福井県の人口と世帯(推計)」による

2. 産 業

(1)農林水産業

圏域の耕地面積6,130haのうち95.3%が水田で、コシヒカリ、五百万石(酒造用米)また水稻種子の優良な産地として知られている。生産調整田では特産作物である里芋や大麦とそのあと作であるそばの作付けが盛んである。

林業においては、森林面積の29.0%、27,873haが人工林として管理されている。

また、林産物としては、生椎茸が県全体の30.4%、61,322kg、まいたけが県全体の99.8%、140,242kg生産されている。

水産業においては、圏域内に3つの漁業協同組合があり、内陸に位置する当圏域では、九頭竜川、真名川を中心に内水面漁業が行われている。

[数値データ:R元(第67回)福井県統計年鑑]

(2)商工業

圏域の商業事業所数は、618事業所で県全体の6.9%、年間商品販売額は、約554億円で県全体の2.8%となっている。

工業事業所数は、151事業所で県全体の7.2%、製造品出荷額は、約1,340億円で県全体の6.0%となっており、主な製造物は、繊維製品と弱電部品である。

[数値データ:R元(第67回)福井県統計年鑑]

(3)観光

総面積の35%が白山国立公園及び奥越高原県立自然公園に指定されている。

豊かな自然資源と史跡、古い町並みなど優れた文化遺産、さらにはこうした風土、歴史に育まれた伝統の朝市や左義長祭りなど民俗的な資源に恵まれている。

また、1億2千万年前のジュラ紀、白亜紀の地層である手取層群の露出地が点在しており、勝山市は国内で産出される恐竜化石の大部分を占める産出地となっていることから、県立恐竜博物館が設置され、圏域内最大の誘客施設となっている。

令和元年の圏域内への観光客入込数は、420.9万人で前年比11万人(2.8%)の増となっている。

[数値データ:令和元年福井県観光客入込数(推計)]

第2章 事務組合の概要

1. 事務組合の概要

奥越地方において、国が推進してきた広域行政圏施策に基づき、昭和46年10月、大野市、勝山市及び和泉村の3市村を区域とする「大野・勝山地区広域市町村圏協議会」が設置され、翌年3月に「大野・勝山地区広域市町村圏計画」が策定された。

これに伴い、昭和47年7月1日、廃棄物処理施設の設置及び管理運営に関する業務及び大野・勝山地区広域市町村圏計画の策定及び連絡調整に関する事務等を共同処理する「大野・勝山地区広域行政事務組合」が発足した。

その後、伝染病隔離病舎管理、奥越青少年愛護センター、農業共済事業、広域観光事業等2市1村共同で実施する事業が順次スタートした。

平成11年3月には伝染病隔離病舎が廃止され、平成12年3月に県内の農業共済の合併に伴い、農業共済の事務も廃止された。平成12年4月には介護保険2次判定業務がスタートし、平成18年8月に(旧)障害者自立支援法に基づく市町村審査会の2次判定業務がスタートした。

また、事務組合発足当時の目的であったごみ処理施設が平成18年に完成し、その管理運営事業が当組合の主たる事業となっている。

なお、構成自治体は、平成17年11月に大野市と和泉村が合併したことにより、大野市、勝山市の2市となっている。

平成23年4月1日には、国の広域行政圏施策の廃止に伴い、広域市町村圏計画に基づき実施している事務を含めて、組合の共同処理する事務とするための規約変更を行った。

共同処理を実施している事業

- ①廃棄物処理施設の管理運営
- ②広域観光の推進
- ③奥越青少年愛護センターの運営
- ④介護保険認定審査会の運営
- ⑤障害者介護給付市町村審査会の運営

2. 事務組合の歩み

昭和	45. 3. 3	奥越地区広域行政推進協議会設置(任意)
	45. 4. 1	勝山市・大野市伝染病隔離病舎組合設立
	46. 7. 12	大野・勝山地区広域市町村圏設立
	46. 10. 1	大野・勝山地区広域市町村圏協議会設立
	47. 7. 1	大野・勝山地区広域行政事務組合設立 (大野市、勝山市、和泉村・一部事務組合)
	53. 4. 1	伝染病隔離病舎の管理運営事務併合
	57. 4. 1	奥越青少年愛護センター発足
	61. 4. 1	奥越農業共済事務所発足(共同事務がスタート)
平成	11. 3. 31	伝染病隔離病舎廃止
	12. 3. 31	奥越農業共済事務所合併による事務廃止
	12. 4. 1	介護保険制度・2次判定業務スタート
	16. 3. 5	ごみ処理施設建設工事着工
	16. 12. 24	最終処分場建設工事着工
	17. 11. 7	大野市・和泉村が大野市として合併
	18. 3.	最終処分場(エコバレー)竣工
	18. 6.	ごみ処理施設(ビュークリーンおくえつ)竣工
	18. 7. 1	ごみ処理施設本格稼動
	18. 8. 11	障害者自立支援制度・2次判定業務スタート
	23. 4. 1	広域市町村圏計画の策定業務廃止に伴う規約変更

3. 組合議会

議会構成等

定例会……12月・3月

議員定数……大野市 5人

勝山市 5人

議員選出……各市議会議員のうちから選挙する

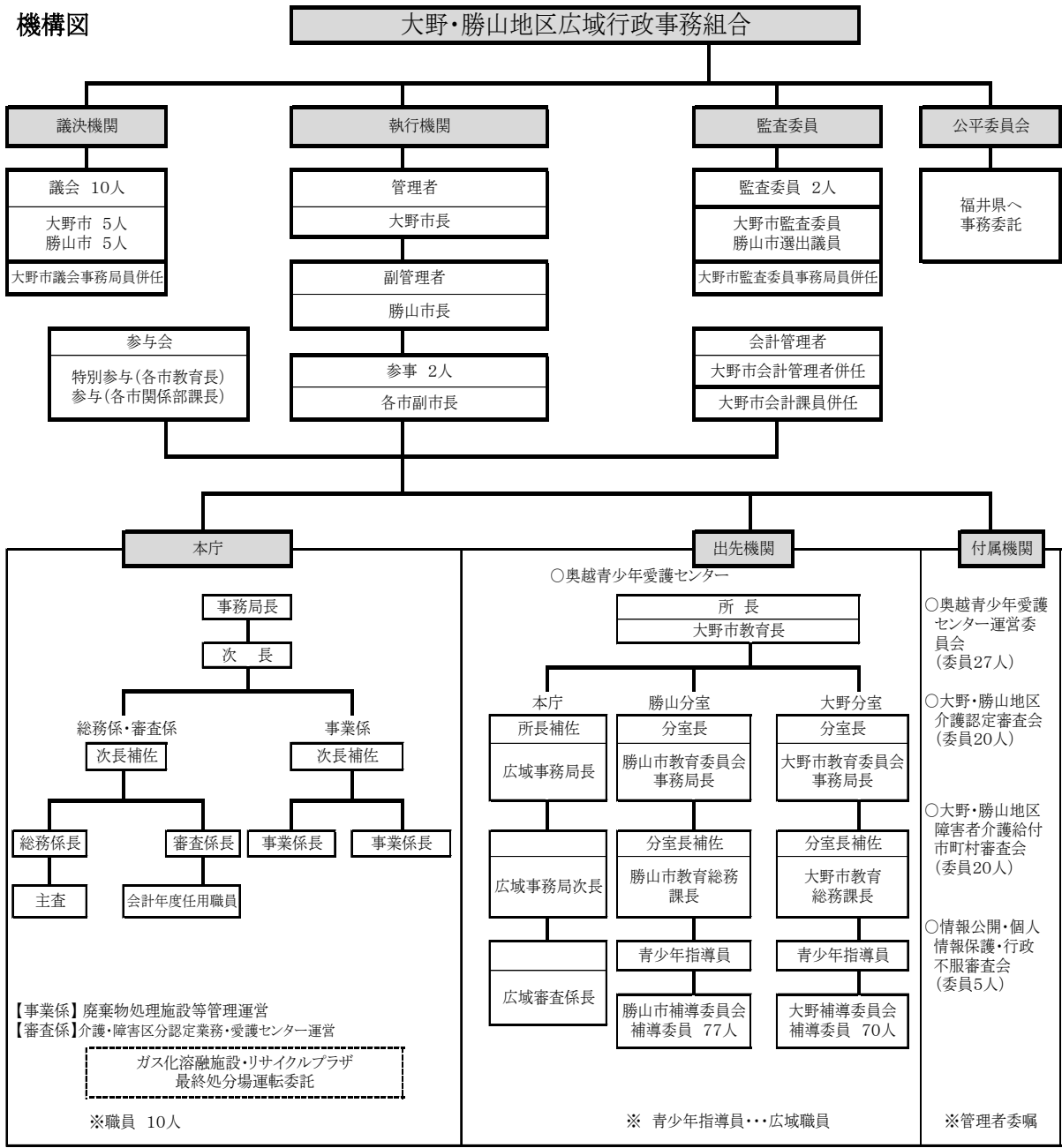
議会会期……定例会 1日(平成28年3月定例会から)

臨時会 1日

議 場……大野市役所 議場(管理者市議場)

4. 事務組合の機構

(令和3年4月1日現在)



第3章 事業の概要

1. 廃棄物処理施設の管理運営事業

大野・勝山地区広域行政事務組合廃棄物処理施設の最終処分場「エコバレー」は、平成18年4月から、ごみ処理施設「ビュークリーンおくえつ」は同年7月から本格稼動し、大野市と勝山市のごみを処理している。

「ビュークリーンおくえつ」は、燃やせるごみを処理するガス化溶融施設と粗大ごみや資源ごみの資源化を図るリサイクルプラザからなっている。また、ガス化溶融施設では下水道汚泥も併せて処理を行っている。

これら施設の建設は、平成16年に着工し、約3年で完成した。総工費は「ビュークリーンおくえつ」が約65億円、「エコバレー」が約10億円である。

ガス化溶融施設は1日当たり84トン、リサイクルプラザは1日31トン进行处理することができる。また、エコバレーでは1日30m³の浸出水を処理することができる。

ビュークリーンおくえつ (ガス化溶融施設・リサイクル施設)

所在地 大野市南新在家第28号1番地
敷地面積 約15,000m²
建築面積 6,130m²
処理能力
ガス化溶融施設 84t/日 (42t/24h×2炉)
リサイクルプラザ 不燃・粗大ごみ 10t/5h
資源ごみ 21t/5h
総事業費 6,498,450千円
工期 平成16年3月～平成18年6月
稼働 平成18年7月～

エコバレー (最終処分場)

所在地 勝山市平泉寺町岩ヶ野42字上野34番2
埋立面積 5,530m²
埋立容量 25,000m³
浸出水処理能力 30m³/日
埋立方法 セル方式 準好気性埋立
総事業費 浸出水処理施設 606,900千円
埋立処分地造成 311,535千円
工期 平成16年12月～平成18年3月
稼働 平成18年4月～

R2年度ごみ処理量



ごみ搬入量 20,415トン (R1年度比 0.9%減)

- ・燃やせるごみ 16,503トン
- ・燃やせないごみ 841トン
- ・資源ごみ 1,384トン
- ・下水汚泥 1,629トン
- ・埋立処理分(直接) 58トン

H28	20,006トン
H29	19,859トン
H30	20,717トン
R1	20,608トン

3,071トン

資源ごみ処理量 3,071トン (R1年度比 0.4%減)

- ・粗大ごみ処理 1,248トン
- ・資源化処理 1,823トン

H28	2,870トン
H29	2,925トン
H30	3,111トン
R1	3,083トン

・直接埋立分 58トン

※一人当たり一日のごみ排出量 929g

H28	1,079トン
H29	947トン
H30	1,110トン
R1	1,040トン

ごみ焼却量 18,192トン (R1年度比 1.3%減)

- ・ごみ焼却処理 16,563トン
- ・下水汚泥処理 1,629トン

H28	17,689トン
H29	17,693トン
H30	18,351トン
R1	18,427トン

焼却 906トン

資源化 粗大ゴミより603トン・資源化物より1,412トン

埋立 150トン

埋立処分量 1,063トン (R1年度比 2.2%増)

- ・飛灰固化物 855トン
- ・不燃物残渣 150トン
- ・直接埋立分 58トン



資源化 2,691トン (R1年度比 9.4%減)

- ・古紙類 1,031トン
- ・スチール缶 57トン
- ・その他鉄類 582トン
- ・アルミ缶 76トン
- ・その他アルミ類 50トン
- ・ビン類 189トン
- ・ペットボトル 59トン
- ・乾電池等 14トン
- ・テープ類 18トン
- ・スラグ 615トン

H28	3,019トン
H29	2,959トン
H30	3,195トン
R1	2,970トン

資源化 676トン

R3年4月1日 広域行政

大野・勝山地区広域行政事務組合

2. 広域観光の推進事業

(1) 概 要

当組合の観光関連事務事業は大きく分けて次の3つに分けられる。

①他圏域との連携

「環白山広域観光推進協議会」、「ふくいやまぎわ天下一街道広域連携協議会」に構成団体として参画し、出向宣伝や各種イベントを展開している。

②観光関係団体への補助事業

「奥越前観光連盟」に事業補助金を支出している。

③団体事務

「奥越前観光連盟」と「九頭竜テラル高原推進協議会」の2団体の事務局を担当している。
(令和3年度観光関連事業の計画)

事業名	補助金等(千円)	概 要
奥越前観光連盟補助金	3,340	奥越前観光連盟が実施する観光事業に補助 ・ 広告、宣伝事業 ・ 誘客、周遊促進事業 ・ ツーリズムEXPOジャパンへの参画
環白山広域観光推進協議会負担金	500	白山周辺への観光誘客推進のため白山周辺の3県と4市1村等で構成し、観光情報発信やキャンペーンを実施

(2) 令和2年度観光関連事業実施概要

◎奥越前観光連盟実施事業

(大野市・勝山市の観光関係団体等で構成)

①誘客、周遊促進事業

・中京圏及び県内をを対象とした事業の実施

yahooのインターネットサイトへ夏秋編と冬編として広告を掲載し、奥越前の観光スポットやイベント等を紹介した。

また、360度カメラで撮影したYouTubeの専門チャンネルを開設した。このチャンネルを周知と日本酒の購買につなげるため、バーチャルバスツアーを制作し、1月20日にマスコミ関係者や抽選で選ばれた一般の方などを招待して、福井市のセーレンプラネットで上映会を開催した。

・「奥越前良縁さんぽ」

大野市と、勝山市のそれぞれ5か所で販売されている大野絵馬と勝山絵馬を一つに合わせて、縁結びにご利益のある春日神社(大野市)と結神社(勝山市)に奉納する旅に出かけることを提供することによって、誘客、周遊を促す。

・1枚300円 1組600円 (販売枚数 バラ23枚、セット24組)

②広告・宣伝事業

・ドライブマップの配架

配架場所:圏域内の観光施設等

◎九頭竜テラル高原推進協議会実施事業

(圏域内4スキー場や観光関係団体等で構成)

①スキー場誘客宣伝事業

- ・リフト券プレゼントキャンペーン実施

県内及び中京圏を対象としたリフト券が抽選で当たるプレゼントキャンペーンを実施した。

期 間: 令和2年12月1日～20日

応募総数: 536名

◎環白山広域観光推進協議会実施事業

①パンフレット・ポスター作成事業

環白山地域の魅力について、自然・体験・文化・食・祭りを切り口とした情報を掲載し、裏面には「ぐるっと白山周遊イラストマップ」を使用したパンフレットを作成し、観光施設や道の駅等で配付するとともに出向宣伝や出展事業等で活用した。

(パンフレット 7万部・ポスター250部作成)

②スマホスタンプラリー事業

JAFと連携し、スマートフォンを活用したスタンプラリー「プラチナルート白山ドライブスタンプラリー」を実施し、参加者の周遊を促した。

期 間: 8月1日～11月30日

③出向宣伝・マスコミキャラバン事業

三大都市圏の旅行会社商品造成部門やマスコミに対して、各団体で実施されるキャラバン等を活用しながら、環白山地域の観光素材を提案してきたが、新型コロナウイルス感染症の状況を受け、令和2年度はマイクロツーリズムの促進として環白山地域に向けて、ラジオを活用しPRした。

- ・MROラジオ、FBCラジオ、CBCラジオ (期間: 10月1日～31日)

④SNSを活用した情報発信事業

インターネットサイトのGoogleとYahooを活用し、環白山地域及び中京圏在住の方に向けて、2回にわたり環白山地域内の紅葉や観光情報を発信した。

⑤イベントによる魅力発信、広報宣伝事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度はイベント等は開催していないが、(協組)加賀能登のれん会が開催した物産展でパンフレットを配架した。

また、中京圏への情報発信として中日本エクス株式会社が発行する「ぶらりMAP春夏号」に掲載する広告を作成した。

- ・いしかわ百万石物産展

時期 8月25日～31日

場所 うすい百貨店(福島県郡山市)

- ・中日本エクシス株式会社が発行する「ぶらりMAP春夏号」の広告作成

発行日:4月1日～

部 数:50,000部

配架場所:NEXCO中日本館内SA

掲載場所:裏表紙

⑥WEBサイト運用事業

協議会HPの管理・情報更新、アクセスデータの集計・分析による環白山地域へのニーズの調査、各市村の外国語ページをまとめたページの作成などを行った。

道の駅 越前おおの 荒島の郷



道の駅 恐竜渓谷かつやま



天空の城 越前大野城



国史跡 白山平泉寺

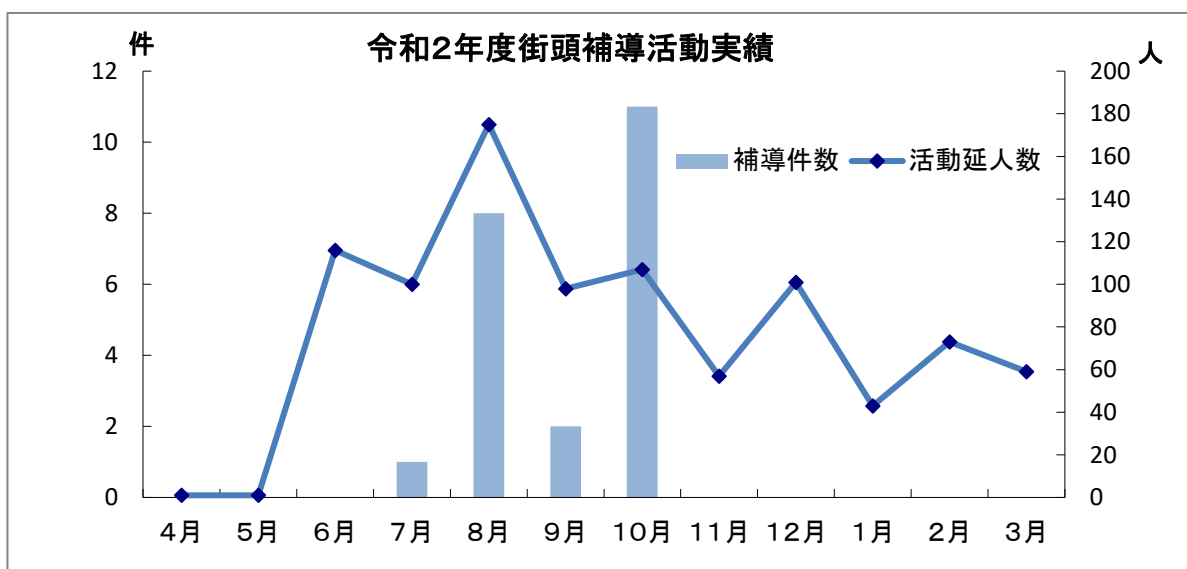
3. 奥越青少年愛護センター運営事業

奥越青少年愛護センターでは、下記の事業を実施し、管内の青少年の健全育成に努めている。

(1) 補導委員による補導活動

補導委員147人を委嘱し、青少年の非行防止と健全育成のため、日夜補導巡回活動を実施している。

令和2年度において、延べ931人の補導委員による補導活動を実施し、22人に対し「愛の一声」を行った。



(2) 環境浄化活動

書店、ビデオショップの巡回、指導を実施している。また、駅(3箇所)に有害図書やDVDなどを回収する、白いポストを設置し、青少年への悪影響を排除し、環境浄化に努めている。令和2年度は、149冊の有害図書等を回収した。

(3) ポスターコンクール

青少年健全育成の啓発を目的に、小中学生を対象とした、青少年健全育成図画・ポスターコンクールを実施している。また、最優秀作品を採用したポスターを作成し、関係団体施設等に掲示をしている。令和2年度は、小学生305点、中学生3点の応募があった。

(4) 相談業務

青少年、保護者等からの電話(ヤングテレホン)や面談による相談を受け付けている。
令和2年度は、10件の相談があった。

(5) 善行青少年表彰

青少年の健全育成に貢献のあった青少年個人及び団体を顕彰している。令和2年度は、4団体に対し表彰を行った。

(6) そのほか、校区毎の地区懇談会の実施や、遊泳禁止箇所の点検等を実施している。

管内の青少年数

R3.4.1現在

区分	管内	大野市	勝山市	備 考
小学生	人 2,439	人 1,376	人 1,063	大野市10校 勝山市10校(私立1校含む)
中学生	1,372	782	590	大野市5校 勝山市4校(私立1校含む)
高校生	1,077	766	311	大野市2校 勝山市1校
総合計	4,888	2,924	1,964	

※高校生の生徒数については、高校の所在地で集計

子どものための相談窓口

電話相談 (24時間365日)	0776-24-3654	毎日	24時間	福井県総合福祉相談所
ヤングテレホン	0120-783-214	月～金	8:30～17:15	福井少年サポートセンター
子どもの人権110番	0120-007-110	月～金	8:30～17:15	福井地方事務局
電 話 相 談	0776-51-0511	毎日	24時間	福井県教育総合研究所
ふくいチャイルドライン (子どもの専用電話)	0120-99-7777	毎日	16:00～21:00	福井県子どもNPOセンター

その他、各市町の青少年愛護センターにも相談窓口があります。

ヤングテレホン

困っているとき、悩んでいるとき、ちょっと**ダイヤル**してみませんか？



☆奥越青少年愛護センター大野分室
66-1006

☆奥越青少年愛護センター勝山分室
88-1004

平日の午前9時～午後4時

4. 介護保険認定審査会・障害者介護給付市町村審査会の運営事業

(1)介護認定審査会

保健、福祉、医療分野の有識者20人で構成する大野・勝山地区介護認定審査会を設置し、介護認定の2次判定に関する業務を行っている。

令和2年度は、審査会を118回開催し、2,598人の判定を行った。

令和2年度介護認定審査会実績

給付区分	要介護度	大野市	勝山市	計
予防給付	要支援1	110 ^人	59 ^人	169 ^人
	要支援2	239	158	397
介護給付	要介護1	210	170	380
	要介護2	327	212	539
	要介護3	289	163	452
	要介護4	240	155	395
	要介護5	153	103	256
非該当		5	5	10
計		1,573	1,025	2,598

(2)障害者介護給付市町村審査会

大野・勝山地区障害者介護給付市町村審査会を設置し、障害(身体障害・知的障害・精神障害)区分の2次判定に関する業務を行っている。

(審査会委員は介護認定審査会と兼務)

令和2年度は、審査会を13回開催し、180人の審査判定を行った。



審査会

令和元年度決算

一般会計

【単位:円】

歳入(款)	決 算 額	主な収入
1 分担金及び負担金	1,163,575,000	大野市・勝山市より
2 使用料及び手数料	60,042,760	施設持込手数料等
4 県 支 出 金	3,974,502	派遣職員人件費補助等
5 財 産 収 入	12,835	減債基金利子
6 繰 入 金	27,111,259	特別会計繰入金・減債基金繰入金
7 繰 越 金	18,162,532	前年度繰越金
8 諸 収 入	35,415,084	再資源化物売却代等
歳 入 合 計	1,308,293,972	

歳出(款)	決 算 額	主な支出
1 議 会 費	230,403	議会に要する経費 230,403
2 総 務 費	86,008,002	職員給与費 49,345,168
		行政事務費 23,358,557
		広域圏振興事業費 145,001
		愛護センターに要する経費 9,840,393
		特別会計繰出金 3,297,000
		監査に要する経費 21,883
3 民 生 費	11,262,902	介護保険認定審査会運営事業費 10,667,125
		障害者介護給付市町村審査会運営事業費 595,777
4 衛 生 費	740,471,666	職員給与費 53,352,065
		清掃総務事務経費 33,292,814
		ごみ処理施設管理運営費 625,422,120
		最終処分場管理運営費 28,391,832
		減債基金積立 12,835
5 公 債 費	450,598,522	組合債償還金 439,621,713
		組合債償還利子 10,976,809
6 予 備 費	—	
歳 出 合 計	1,288,571,495	

ふるさと市町村圏振興事業特別会計

【単位:円】

歳入(款)	決 算 額	主な収入
1 財 産 収 入	665,424	ふるさと市町村圏寄金利子(基金550,000千円)
2 繰 入 金	3,297,000	一般会計繰入金
3 繰 越 金	111,259	前年度繰越金
歳 入 合 計	4,073,683	

歳出(款)	決 算 額	主な支出
1 総 務 費	122,974	一般管理費 11,715
		一般会計繰出金 111,259
2 ふるさと市町村圏 振 興 事 業 費	3,853,818	ふれあい広域圏交流事業費 513,818
		観光連盟補助事業費 3,340,000
歳 出 合 計	3,976,792	

令和3年度予算

一般会計

【単位:円】

歳入(款)	予 算 額	主な収入
1 分担金及び負担金	856,277,000	大野市・勝山市より
2 使用料及び手数料	63,441,000	施設持込手数料等
4 県 支 出 金	3,960,000	派遣職員人件費補助等
5 財 産 収 入	220,000	物品売払収入
6 繰 入 金	1,000	特別会計繰入金
7 繰 越 金	1,000	前年度繰越金
8 諸 収 入	24,488,000	再資源化物売却等
歳 入 合 計	948,388,000	

歳出(款)	予 算 額	主な支出
1 議 会 費	1,288,000	議会に要する経費 1,288,000
2 総 務 費	70,276,000	職員給与費 50,695,000
		行政事務費 5,930,000
		広域圏振興事業費 153,000
		愛護センターに要する経費 9,687,000
		特別会計繰出金 3,787,000
		監査に要する経費 24,000
3 民 生 費	15,600,000	介護保険認定審査会運営事業費 14,761,000
		障害者介護給付市町村審査会運営事業費 839,000
4 衛 生 費	860,424,000	職員給与費 23,082,000
		清掃総務事務経費 9,679,000
		ごみ処理施設管理運営費 788,402,000
		最終処分場管理運営費 39,261,000
5 公 債 費	300,000	一時借入金利子 300,000
6 予 備 費	500,000	
歳 出 合 計	948,388,000	

ふるさと市町村圏振興事業特別会計

【単位:円】

歳入(款)	予 算 額	主な収入
1 財 産 収 入	164,000	ふるさと市町村圏寄金利子(基金550,000千円)
2 繰 入 金	3,787,000	一般会計繰入金
3 繰 越 金	1,000	前年度繰越金
歳 入 合 計	3,952,000	

歳出(款)	予 算 額	主な支出
1 総 務 費	23,000	一般管理費 22,000
		一般会計繰出金 1,000
2 ふるさと市町村圏 振 興 事 業 費	3,929,000	ふれあい広域圏交流事業費 589,000
		観光連盟補助事業費 3,340,000
歳 出 合 計	3,952,000	